

1. レジ袋削減への取組

・東大阪ブロック・京阪奈北レジ袋削減会議

東大阪ブロックと京阪奈北地域の11市で構成している会議に参加している。この会議は、各市のレジ袋削減に係る事業の情報交換や、事業連携を目的とするものである。

・レジ袋削減キャンペーン

平成3年10月に再生資源利用促進法が施行されたことを受け廃棄物発生の抑制を周知するため、当市では平成15年度からレジ袋削減キャンペーンを実施している。毎年10月5日を中心にキャンペーンを展開。市民の意識啓発を目的に、エコバッグの配布やレジ袋に対するアンケート調査を実施している。

2. レジ袋削減への取組に係る自身の評価

市民の意識啓発を中心とする活動であり、一概に評価するのは難しい。しかし、マイバッグの認知度や持参率が向上していることから、市民の意識は徐々に高まってきていると考えられる。

3. レジ袋削減から新たな取組に展開した経緯、新たな取組に展開できた要因

平成22年度から実施している環境教育出前講座のメニューの一つとして手作りマイバッグ講座を取り入れ、継続的に実施している。これは、従来のレジ袋削減の取組を基盤としつつ、マイバッグの利用をリユースの象徴として位置づけ、循環型社会構築の必要性や大切さを理解する端緒となるような教材・ツールとして活用したものである。

4. 新たな取組の詳細

小学校、保育園、幼稚園や市民団体等の依頼に応じて環境部職員が講師として出向き、環境教育出前講座を実施している。そのなかのメニューとして、小学生を主な対象とする「手作りマイバッグ講座」がある。この講座は、低学年では環境問題とマイバッグ利用の関係性を理解することが難しいため、対象は主に小学校4年生以上としている。小学校の社会科の授業に組み込まれることが多いが、授業への活用は、先生方の裁量に任せている。環境教育出前講座のメニューとして、小学校等に対して紹介はしているものの、

ホームページ、広報等による公表はしていない。従って、環境教育事業を幅広く展開するために、今後は更なる周知拡大を図る必要性を感じている。

講座の所要時間は1時限（40分～50分程度）であり、前段ではレジユメを用い、レジ袋の消費量やレジ袋1枚当たりの石油消費量等について説明する。後段では、折り紙の要領で一枚の紙（78cm×34cm）からマイバッグを実際に作る。最後に出来上がったマイバッグに好きな絵を描き入れてもらい、世界に一つだけのオリジナルマイバッグが完成する。レジ袋削減のためにマイバッグを利用するという行動転換は、児童にも分かりやすい内容であり、3Rを促進する際には、非常に重宝するきっかけ・ツールとなっている。また、自分の手でマイバッグを作ることで、楽しみながら興味を持って環境問題の理解ができ、受講した小学生の反応は良い。座学のみでの授業に比べ一定以上の効果があるとみている。今後も内容の改善を重ねて継続・充実させていきたい。

手作りマイバッグ



マイバッグの作り方

..... 糊付け箇所
—— 折り目

